

## 金融店舗で秋キュウリ収穫

東秋留支店は12月5日、支店敷地内の一角にある8㎡ほどの畑でキュウリを収穫しました。今回収穫したキュウリは9月末に組合員から秋・冬でも収穫できる品種「ナノ」の苗をもらい定植したものです。秋の時期に夏野菜であるキュウリを育てるのは初めての試みで、支柱立てや誘引など相談し合いながら育ててきました。

遠藤弘之支店長は「秋にキュウリを植えるのは初めてでしたが、無事に収穫できて良かった。栽培を通じて職員同士の交流が深まったと感じました」とうれしそうに話しました。



キュウリの収穫を喜ぶ職員

東秋留支店 市倉裕子

## 窓口にクリスマスの飾りつけ

東秋留支店は、12月中旬クリスマス飾りつけを行いました。ミニクリスマスツリーを中心に、松ぼっくりをデコレーションした飾りや、クリスマスリースなど地域の方々から以前に手作りしてくださった飾りを窓口に装飾しました。

J Aのイメージキャラクターである「よりぞう」もサンタクロースの帽子や洋服を着て店内がクリスマスの装いとなりました。遠藤弘之支店長は「窓口に来店されるお客さまに少しでもクリスマスの雰囲気を楽しんでいただけたらうれしいです」と話しました。



飾りつけを行った職員とよりぞう

東秋留支店 市倉裕子

## 生産者が協力しクリスマスフェア

日の出町ふれあい農産物直売所は、12月15日から25日までの期間クリスマスフェアを開催しました。

クリスマス楽しい雰囲気の中で買い物を楽しんでもらいたいと直売所の出荷会員を中心にディスプレイの構成から飾り付けまでを行いました。フェアの目玉商品は、ブロッコリーやキャベツ、サツマイモ。クリスマスレシピの紹介やクリームシチューの素の販売も行い、家庭での食卓を彩る料理提案にも力を入れました。



フェアの目玉商品をPRする出荷会員

日の出経済センターぐりむ 出口哲史

## 新聞記事出稿目標達成を表彰

1月7日、日本農業新聞の年間記事出稿目標を達成した5人の広報委員を表彰しました。JAでは金融店舗7店、経済センター3店、本部3部署より広報委員を選出し、同紙の記事執筆、広報誌の作成、SNSへの情報提供を行っています。日本農業新聞の出稿については、1年間の任期中4本以上の目標を設定し、12月末までに目標を達成した広報委員を表彰しました。

谷澤俊明組合長は「広報委員として農業者や地域の情報を積極的に取りに行き、JAの魅力や取り組みを発信してほしいです」と期待を寄せました。



表彰された職員5人

地域振興課 二瓶実里